

インテック

日立ソフト「秘文」のログを高速検索
快速サーチャー ログ検索ソリューション for 秘文

インテックは「快速サーチャー ログ検索ソリューション」と日立ソフトウェアエンジニアリングの「秘文」を連携し、「快速サーチャー ログ検索ソリューション for 秘文」として5月21日より販売を開始した。

秘文シリーズはコンテンツ暗号化・持出制御分野で国内トップシェアの情報漏洩防止ソリューション。今回の連携は、クライアントPCの操作履歴など秘文が出力したログを快速サーチャー ログ検索ソリューションに取り込んでデータベース化し、長期保存と高速検索を可能にする。秘文に最適化しているため、導入時に特別な作業はならず、スケジュールを登録するだけで自動的にログのデータベースが作成される。作成されたデータベースを選択し検索条件を設定するだけで、膨大なログから必要な情報だけを瞬時に抽出できるので、これまで管理者にとって大きな負担であった「急なログ検索依頼」や「レポート作成」にかかる時間を大幅に削減することができる。

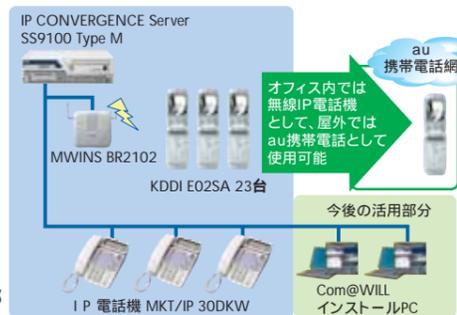
お問い合わせ先: インテック ビジネスプロダクトソリューション事業部 TEL:(03)5665-5140

インテック

ファイネットにモバイルセントレックスシステムを納入

インテックはファイネットに沖電気工業(OKI)製IPテレフォニーサーバ「IP CONVERGENCE Server SS9100 Type M(SS9100 Type M)」をベースとしたモバイルセントレックスシステムを納入した。モバイルセントレックスシステムは、携帯電話を内線電話としても使えるようにするもので、携帯の機動性を生かし、事業所や座席にとらわれないワークスタイルを実現する。

ファイネットはオフィス移転を機に、営業の機動性向上を目的に導入を決めた。構築にあたっては、SS9100 Type Mをベースに、端末には無線LAN対応 au 携帯電話「E02SA」を取り入れた。E02SAは社内では無線LAN対応のVoIP内線電話として、外出時には携帯電話として利用できる。さらにファイネットでは、PC上で電話とアプリケーションを連動したコミュニケーションを実現するOKIのCom@WILLソフトウェアの試行も開始している。



お問い合わせ先:
インテック ユビキタスソリューション事業部
TEL:(03)5665-5121

株式会社ファイネット モバイルセントレックスシステム

インテック

EINS / PKI+
電子証明書発行サービス
セキュアポータルサービスの
提供開始

インテックは、EINS/PKI+(アインスピーケーアイ プラス)電子証明書発行サービス「パブリッククライアント証明書」において、お客さまがそれぞれ専用のWebサイトから証明書を管理することができる新サービス「セキュアポータルサービス」の提供を7月より開始した。

これまでは利用者情報の追加・変更・削除などの変更事由が発生するたびに、所定の申請書類の提出が必要だったため、申請責任者の作業負担が大きく、また書類の準備や送付などに時間がかかり、証明書利用までタイムラグが発生していた。

今回、お客さまの利便性を向上させるため、お客さま専用のWebインターフェース(管理画面)に認証権限を設定し、Web上からの簡単な申請とEINS/PKI+事務局からの電話確認のみで証明書の発行を可能にした。また、利用者情報の登録・削除や証明書のステータス確認など、発行した証明書の管理もWebサイト上から行えるようになった。もちろん、Web Trust for CA 規準に適合する審査水準は維持している。

今後、同様のサービスをプライベート証明書サービスやパブリックWebサーバ証明書でも展開していく予定。

初回お申し込み時、および年に一度の更新審査では、所定の申請書類が必要。

お問い合わせ先:
インテック ネットワーク事業推進部
TEL:(03)5665-5026

インテック

MCFrame Partner of the Year 2007
東洋ビジネスエンジニアリングから表彰

インテックは6月7日、ホテルニューオータニ東京で開催された東洋ビジネスエンジニアリング主催の2007年度 MCFrame パートナー総会において、年間を通して最も優秀なビジネスパートナーに贈られる「MCFrame Partner of the Year 2007」を受賞した。今回で4度目の受賞となる。

MCFrameは、豊富な標準機能と柔軟性や拡張性を併せ持つことで、高品質・低コスト・短納期によるSCMシステム導入を可能にする製造業向けの生産・販売・物流統合パッケージである。インテックは同社のパートナーとして、製造業向けに



MCFrameを用いたSCMシステムを構築しており、すでに30社を超える実績がある。

今回の受賞は、2006年度 MCFrameライセンス売上、および MCFrameに関する知識・テクニカルスキルを公式認定する制度(MCCP)の合格者数がトップであったことなどが評価された。

導入中も含む

インテック

短期海外研修を実施
ボストン、ニューヨーク、
シリコンバレーを訪問

インテックは6月19日から14日間にわたって短期海外研修を実施した。若手社員の視野を広げ、サービス・業務の新たな展開のきっかけにすることを目的として、15名が米国のボストン、ニューヨーク、シリコンバレーを訪問した。

グローバルIT先進企業からベンチャー企業まで12社を訪問し、インテックについて紹介するとともに、訪問企業の製品・サービス動向を聞き、活発な意見交換を行った。米国大手ベンダーがM&Aを駆使して俊敏に技術革新を図っている様子や、中国・インドなどアジアのIT企業が米国で活躍している現状を確認した。また、米国企業が次々に新たな技術やサービスを生み出す発想の源泉には、多様な人種と価値観の中で議論しあって物事を進めるダイナミズムとエネルギーがあることを肌で感じた。参加したメンバーは、その視野を大きく世界に広げる契機をつかんで帰国した。



インテック

「女性が輝く元気企業とやま賞」受賞

インテックは富山県から、「女性が輝く元気企業とやま賞」を受賞した。女性がいきいきと活躍している企業を表彰し、女性労働者の能力発揮を促進することを目的とした賞で、今年新たに創設された。

インテックは充実した育児休業制度に加え、育休中の社員向けの「職場復帰プログラム」や事業所内保育施設の設置など、仕事と子育ての両立を積極的に支援していることが評価された。6月23日に表彰式が行われ、金岡克己社長が石井隆一富山県知事より表彰状と記念の盾を受け、受賞者代表として謝辞を述べた。

新川インフォメーションセンター

日本ケーブルテレビ大賞番組コンクール
企画番組部門の奨励賞を受賞

ケーブルテレビ局NICE TVを運営する新川インフォメーションセンターは、第33回日本ケーブルテレビ大賞番組コンクールで企画番組部門の奨励賞を受賞した。同社は一昨年のグランプリ、昨年の審査員特別賞に続き、3年連続の受賞となった。

受賞番組は今年3月に放送した「シリーズ魚津大火～半世紀の時を越えて～総集編」。昭和31年9月に発生した富山県魚津大火から50年が経ち、改めてこの大火を検証し、防火・防災意識の向上と今後の街づくりの一考察とするため10回シリーズで放送したものの総集編である。

W & G

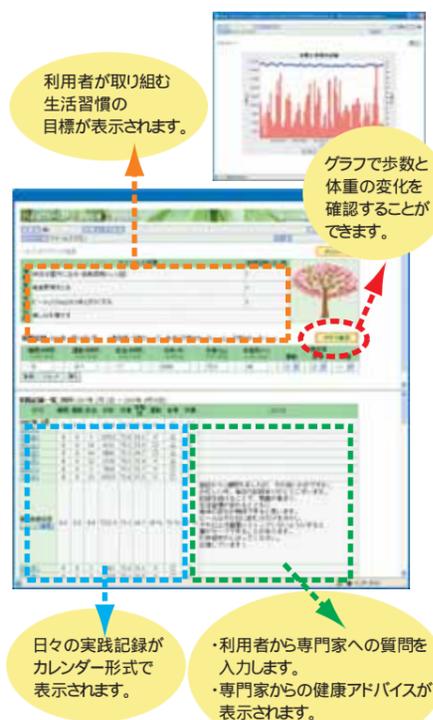
健康づくりを支援、「マイきときとダイアリー」が好調

メタボリック・シンドローム対策など生活習慣病の予防や健康への関心が高まっている。W & Gでは生活習慣病予防を支援する「マイきときとダイアリー」を開発し、ASPでサービスを提供している。運動や食事など日々の生活についての情報をインターネットや携帯電話で送信すると、専門スタッフがアドバイスを返してくれるシステムで、昨年8月の開始以来、企業の健康保険組合や地方自治体の健康指導などで使用されている。

利用者はまず、自分専用のWebブラウザから運動や食事、休養など生活習慣に関する問診を受ける。問診と定期健康診断などの結果に合わせて「階段を使う」「休肝日をつくる」などの行動目標を設定し、実践結果としてヘルス・ダイアリーを毎日送信する。また、「お食事日記」機能では、毎日の食事を携帯で撮影し送信することで、保健師や管理栄養士による手軽な食事診断を受けられる。

来年度から、国の生活習慣病予防事業として特定健診・特定保健指導制度が医療保険者に義務づけられる。W & Gはこの新制度への対応を進め、地方自治体や健康保険組合などへの展開をさらに図っていくことにしている。

お問い合わせ先:W&G 富山研究所 TEL:(076)444-8088



契約によって内容は異なります。
きときと：富山県の方で、元気でいきいきしている様子を表す

インテック

流通ビジネスメッセージ標準(流通BMS)に対応
メーカー・卸向けの次世代XML-EDIソフト「eB-forBMS」を共同開発

インテックとeBASE社およびウルシステムズは共同で、3社の既存製品を連携し、流通BMSに対応した次世代XML-EDIソフト「eB-forBMS」を開発した。

流通BMS準拠のEDIは大手小売業などを導入への取り組みが本格化しており(10~13頁参照)小売企業に商品を納入する卸やメーカーでも今後、流通BMSへの取り組みが必須となる。また、商品の「安全安心」への関心の高まりに伴い、商品を特定し原材料・製造工場などの情報を確認する仕組みも重要性を増す。

「eB-forBMS」は小売企業と取引をする卸やメーカー向けの製品で、受発注や検品、出荷、請求などのデータを流通BMSに準拠した形式で交換できることに加え、EDIと商品データベースの一元管理を可能にすることで、簡単に商品情報を確認できるようにした。問題のある原材料が見つかった場合は、その原材料を含む商品のリストを短時間で作成することも可能となる。

販売はインテックが担当し、流通BMSの迅速な普及を目的に、価格を抑えて幅広いお客さまに提供していく。

eBASE社：商品情報交換データベースソフト「eBASEシリーズ」
ウルシステムズ：次世代受発注ビジネスソリューション「UMLaut/J-XML™」(流通BMSの共同実証で検証済)
インテック：インターネットを活用した企業間電子取引プラットフォームを提供するB2B-ix事業
(従来型のVANに加え流通BMS対応システムの運用実績を蓄積)

お問い合わせ先:インテック B2B-ix事業部 TEL:(03)5665-5113

キーポート・ソリューションズ

信用取引投資シミュレーションシステム
「トレダビ2.1」ASPサービスを開始
新光証券で採用

キーポート・ソリューションズが運営する金融情報サイトK-ZONEは、信用取引投資シミュレーションシステム「トレダビ2.1」のASPサービスを開始した。実際のセミリアルタイム株価(20分遅れ株価)処理機能や現物・信用取引発注機能、余力管理機能、現引・現渡機能、ランキング機能などを持ち、信用取引投資のシミュレーションを可能にするサービスである。

すでに新光証券がお客さま向けの信用取引の学習ツールとして採用し、本格的バーチャル信用取引オンライン学習ゲーム「S-1 チャンピオンシップ」として、7月2日よりサービスが始まった。現物株式取引とも連動した業界初の本格的なシミュレーションで、上位成績者には世界一周旅行などの賞品が提供される。

K-ZONEは今後も、さまざまな金融商品取引のシミュレーションを提供し、金融業界の活性化につながるようなサービスを展開していく。



<http://k-zone.co.jp/sc/>

お問い合わせ先:
キーポート・ソリューションズ ケイソノオペレーションチーム
TEL:(03)3523-8639
<http://www.k-zone.co.jp/>

インテック

W & G

情報セキュリティEXPOに出展

インテックとW & Gは、5月16日から3日間にわたって東京ビッグサイトで開かれた情報セキュリティEXPOに出展した。情報セキュリティEXPOは、情報セキュリティ製品・技術の専門見本市。両社は、アイデンティティ管理ソリューションや不正アクセス監視サービス「EINS/MSS+」、本人認証強化ソリューション「easyPKI」など、ID管理から認証、ログ検索などセキュリティ全般のソリューションを展示し、期間中2,000名を超えるお客さまが来場した。



W&G インテック・ウェブ・アンド・ゲノム・インフォマティクス

インテック

京都府の電子府庁eラーニングシステムに
インターネット市民塾採用

インテックが提唱する「インターネット市民塾」が京都府で採用された。電子府庁推進の一環として職員研修や府民向けのeラーニング講座開催にも活用する。また、府内の市町村ではこのシステムを共同利用し、平成19年度から順次eラーニング講座を開講することを目標に、コンテンツ制作の研修を始めている。

今後、府内の生涯学習環境の格差解消や府民の学習交流を図るとともに、歴史・文化など豊富な学習財産を順次デジタル化し、府内外に発信することが期待されている。また、一つのシステムを多目的に共同利用することで、府全体のコストの低減を図るねらいがある。

インターネット市民塾は、すでに多くの一般市民が行っているように、eラーニング講座を開催・運営しやすいことを特徴としている。また、産学官による生涯学習推進や地域情報化推進の仕組みとしても適していることから、富山をはじめ世田谷、和歌山、徳島など全国に導入が広がっている。京都府でも、導入のしやすさや府および府内市町村、府民などへの利用の発展性が高いことが評価された。

インテック ソリューション パワー

コニカミルタビジネステクノロジーズと
非接触ICカードを使用したコピキタスプリントシステムで協業

インテックソリューションパワー(ISP)は5月、コニカミルタビジネステクノロジーズ(コニカミルタ)と、非接触ICカードを使用したコピキタスプリントシステム「bizmic PrintServer(ビズミック プリントサーバ)」の展開にあたり協業した。

情報セキュリティの重要度が高まるなか、企業はシステムのアクセス権限をより厳重に管理する必要に迫られている。コニカミルタの「bizmic PrintServer」は、出力先の複合機の選択や使用履歴・使用機能の管理が行えるシステムで、パソコンなどからの印刷指示をサーバで管理し、ICカードで本人認証をした上で印刷する。「いつ、誰が、何枚印刷したか」など詳細な管理が可能で、情報漏えいの抑止にも役立つ。また、プリントデータはサーバに登録されるため、サーバに接続した複合機さえあれば、印刷指示したデータを出張先の複合機から出力することもできる。

ISPは豊富なシステム構築・運用ノウハウとソフトウェア開発力を生かし、技術的な販売サポートからシステム構築、保守までのサービスを提供していく。

お問い合わせ先:インテック ソリューション パワー 中部支社 TEL:(052)582-2622